



23 キャンドルファイヤー

青森県立種差少年自然の家



○活動の概要○

ろうそくの火を囲みながら、語り合ったり、レクリエーションを楽しんだりします。

1 ねらい

自他を見つめ合い、共に活動することを通して、連帯感や友情を深め、楽しい思い出をつくります。
(小学校 特別活動 中学校 特別活動)

2 場所・人数・期間・時間

- ① 人数 プレーホール 160人以内、大ホール 100人以内、小ホール20人以内
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1～2時間程度（ろうそくの燃焼時間は1時間程度）

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区 分	準 備 物	備 考
団 体	・フォークダンス等のCD等	
個 人	・特になし	
自然の家	・衣装 ・女神用トーチ ・手持ち用ろうそく台 ・燭台 ・ライター、マッチ等 ・アンプ、マイク、ポータブルプレーヤー	・女神1、付き人3、営火長1 ・プレーホール3 ・270台 ・2台 (プレーホール1、大ホール1)
斡旋可能	・ろうそく大 ・ろうそく小	・1本 255円 ・1本 35円

5 引率者及び参加者の役割分担

係 名	役 割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる
救護係	・緊急時の救護にあたる

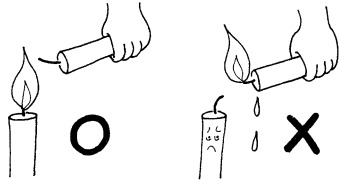
※参加者等の役割分担（例）

・司会者（1～3人）	プログラム全体の司会進行をします
・営火長（1人）	つどいの責任者で、迎火・送火のつどいで挨拶を行います
・女神（1人）	メインキャンドルの入退場や、分火係への分火を行います
・付き人（1～3人）	女神の付き人として、補助を行います
・分火係（若干名、各班1人等）	分火された火を班員に分けたり誓いの言葉を述べたりします
・音響・照明・会場係・営火係（若干名）	会場設営をしたり、プログラムにあわせて音響・照明、キャンドルの火の管理をしたりします

6 その他

- ・活動後は、ろうそくが全部消えたのを確認し、燭台はプレーホール等の中央に置いてください。
- ・片付けは、翌朝（清掃時）に行ってください。
- ・衣装や女神用トーチは所定の場所に返却してください。（プレーホール右部屋のロッカーの中）

7 活動の流れ（例）

時 間	活 動 内 容
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第一部 迎火(げいか)のつどい</p> <p style="text-align: center;">10 〜 15 分</p>	<p>～会場の照明をおとし、静かにスタートします～</p> <p>集 合 ・ろうそくを持って、プレーホール前廊下に並びます</p> <p>↓</p> <p>入 場 ・静かに燭台を1周し、囲みます</p> <p>↓</p> <p>夕 べ の 歌 ・「遠き山に日は落ちて」（ハミング）</p> <p>↓</p> <p>聖 火 入 場 ・女神が火を持って入場し、燭台を1周して定位置につきます</p> <p>↓</p> <p>女神の言葉 （資料参照）</p> <p>↓</p> <p>分 火 ・営火長は、女神から火を受け取り分火係へ分火します ↓（このとき、女神、付き人は静かに退場）</p> <p>点 火 ・分火係は、自分の席にもどり、 班員に分火します</p> <p>↓</p> <p>献 詞 ・全員に分火されたら 班ごとに献詞を述べます （資料参照）</p> <p>↓</p> <p>集 火 ・班ごとに燭台へ集火します</p> <p>↓</p> <p>歌 ・「燃えろよ燃えろ」（校歌、団体歌、楽しい歌等）</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: small;">点火の仕方</p> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第二部 交流のつどい</p> <p style="text-align: center;">40 〜 80 分</p>	<p>↓～会場を明るくして行います～</p> <p>レ ク ・レク、スタンツ、フォークダンス等で楽しめます （全員が声を出し、体を動かし、楽しめるもの）</p> <p>↓</p> <p>歌 ・心を落ち着かせ、参加者の気持ちをひとつにします ※営火係は中央のろうそくの火だけを残し他の火を消します。また、会場の照明も消します。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第三部 送火(そうか)のつどい</p> <p style="text-align: center;">10 〜 15 分</p>	<p>↓</p> <p>営 火 長 の 言 葉 ・キャンドルファイヤーや研修を振り返ります（印象に残る内容で） （資料参照）</p> <p>↓</p> <p>歌 ・終わりの歌（一日の終わり、今日の日はさようなら等）</p> <p>↓</p> <p>退 場 ・「蛍の光」などを歌いながら、営火長→1班…と退場します</p>

《資料》

= 女神の言葉 =

私は、太平洋のつかいとして、〇〇学校のみなさんに、聖なる火をつかわすために来た女神です。

火は、遠い昔から人間だけに与えられた宝物です。これまでの人間の歩みのたくさんの場面で、火によって、私たちの命は守られてきました。しかし、この偉大な火が時には人の命を奪い、時には人類を闘争と破壊へと導いてしまうことも事実です。私たちは、火を正しく使う心を忘れてはいけません。

みなさん、私の持つ火を静かに見つめてください。今、ここに赤々と燃えるこの火には、平和と友情と親睦の願いが込められています。

ここ種差少年自然の家で友達と一緒に過ごしたこの研修（宿泊学習）を振り返り、いっそう友情の輪を広げていきましょう。

= 営火長の言葉 =

今、皆さんの友情と団結を深めるために迎えた火のもと、楽しい時間を過ごしてきました。

私たちは、青い海原と深い森に囲まれた種差の大自然のもとで、全員協力して、実りある生活ができたことに、そして、たくさんの喜びと新しい友、新しい自分に出会えたことに感謝します。

私たちは、この聖なる火のともしびが、思い出とともに末永く私たちの胸の中に残ることを信じて、このつどいを閉じたいと思います。

〇〇年〇月〇日

営火長 〇〇 〇〇

= 献詞（グループごとのとき） =

第一グループ 友情の火 私たちは友情を大切にすることを誓います。

第二グループ 社会に尽くす火 私たちは社会に尽くすことを誓います。

第三グループ 自然を大切にす火 私たちは自然を大切にすることを誓います。

第四グループ 誠実の火 私たちは誠実な人間になることを誓います。

献詞のテーマの例

※火の4つの教え①「火は明るさを与える」=社会に明るさをとむす

②「火は暖かさを与える」=おもいやりをもつ

③「火は1つでは暗く弱いけれど、数多くの炎が集まると、より明るく強く温かくなる」

=友情・協力の大切さ

④「火は自らを焼き尽くしながら周りを明るくする」=奉仕の心

※友情・努力・尊敬・協力・希望・助け合い・思いやり・家族…など、めあてを生かしたもの

= 献詞（一人のとき） =

家庭や学校からはなれ、海と山にひたり、青く広がる種差海岸を見たとき、自然の美しさをしみじみ感じます。

友達と一緒に汗を流しながらの活動、風呂での背中での流し合い、食事中やベッドの中でのおしゃべりなど、初めての経験から、「友達っていいな。」と感じました。

今日のこの感激を忘れることなく、この燃える炎のように、友情の火をいつまでも燃やし続けていきたいと思っています。